

2013056320130563



「カゲロウデイズ」

作・じん（自然の敵P） 出版社 KADOKAWA

8月15日の午後12時半くらいのこと。真夏日のある日にある町で起こった一つの事件。

なんでもないような日常を送るつもりだった主人公は、パソコンに炭酸飲料をぶちまけてしまったせいで、変な事に巻き込まれてしまい、永い永い一日を過ごすこととなります。

実によく在る夏の事件のはずなのに、そこにはとても一日二日では語れるようなものではない程の事象が絡み合っていて……！？

「カゲロウデイズ」は、電子音声を利用した楽曲達を繋ぐ物語。謎が謎を呼ぶ、一度読むだけでは頭がこんがらがってしまうくらい深い物語です。小説は8巻まで続き、登場人物は一人ひとりが主人公。人物の背景ストーリーまで掘り下げられているため、思わず感情移入して読んでしまうかもしれませんね。

病気になるようなほど眩しい日差しが差す日、いったい何が起こったのか……。

読んでみて確かめてみませんか？

Tips!

音楽と小説のコラボが熱い！

みなさん、小説は読みますか？音楽は聞きますか？最近、この二つのつながりがより深くなっています！Y0ASOBIさんによる小説をモチーフにした曲や、上記で紹介している曲から小説が作られたという作品が、最近よく見られます。どちらもストーリーが同じですが、そのストーリーの掘り下げなどによって曲を新たな視点から捉えられるかもしれません！ぜひ、一度本を手にとってみては？



「六兆年と一夜物語」

音楽・KEMU VOXX 著・西本鮎奈 出版社 KADOKAWA

「——ねえ、キミの願いはなあに？」

[忌み子]と呼ばれる十五歳の少年「リク」は、愛も温もりも何も知らないまま、村の人たちに虐げられる生活を送っていました。ある日出会った少女「アイ」はリク自身と同じように傷だらけで、忌み嫌われていた……。アイと出会ったことでリクは温もりを知り、アイと共に協力しあいながら生きていきます。——が、その生活は永久に続くことなく、無残に奪われてしまいます。

[願いを叶える装置]、彼らが考え得る限りの最善策は、それに頼ること。

お世辞にもいい人生を送ってきたとは言えない二人が、何を願い、叶えてもらったのか……。

「六兆年と一夜物語」は、電子音声を利用した超人氣楽曲を原案とした物語。楽曲と小説を照らし合わせてみることで、新たな視点から物語を感じられるでしょう。

彼らの選択を、ぜひご自身の目で見届けてみてください。

※この記事の本の表紙の掲載は、
すべて各出版社の許可の申請中です。